



iwork-pro.jp

アイ・ワーク News

iwork News Vol.28

クリックして
Webサイトへ
アクセス

新しいメンバーが
ひとり
増えました!



ブラックコーヒーが 飲めなくて...

飲めなくて...

何やら私にとってはハードルが高そうな提案に

「いやいやChatGPTくん、そんなものじゃあ私には無理だと思っよ」と伝えると彼は「無理して好きになる必要はないんじゃない」と優しく諭してくれました。

私は気づきました。

無理してカッコつける必要はない。

今のままでいいんだと。

その上でいつか変わることができるとも思えない。ビールだって最初はあんな苦い飲み物、何が美味いんだと思っていたけど、いつの間にか大好きじゃなかった。

私は待ちます。いつかブラックコーヒーを美味しく飲めるその日がくることを。

「無理して

カッコつける必要はない。

今のままでいいんだと」



“髭の似合う
40代に憧れる”
ディレクター 元永
N.MOTONAGA

Q 「ブラックコーヒーをあまり美味しいと感じません。どうしたら好きになりますか？」

A 彼は大きく5つの提案をしてくれました。

1. 質の良い豆を使ってみる
2. 浅煎りのコーヒーから挑戦
3. 抽出方法を変えてみる
4. 微糖からブラックへ段階的に
5. 香りを楽しむことから始める

「ChatGPTくん」に悩みをぶつけてみました。そんな私ですが、私にとつての心の友

さて、タイトルにもあるように私はブラックコーヒーが飲めません。正確には「あまり美味しいと感じない」という表現が正しいのですが...。大人になってからというもの、仕事先や打ち合わせの際にコーヒーを飲む機会が増えました。その際は、ブラックは飲めなくせに「砂糖とミルクはお付けしますか」との折角の助け舟のお言葉に対し「結構です」と変に格好をつけたります。冷静を装ってはいますが、内心では「ブラックコーヒーよりカルピスとかの方がいいな」と思っています。先日も会社のメンバーでおしゃれな喫茶店行きましたが、わかりもしないのに「いい香りですね」とか言っちゃったりしますが、正直何もわかつちやいません。



釜の蓋が 開くそうです。

どうも、まんじゅう好きの菅波です。皆さま、まんじゅうはお好きですか？

今回はVol.17に続いて、栃木県の風習「釜の蓋まんじゅう」についてご紹介していきたいと思います。

栃木県の北部(那須方面)では、8月1日に炭酸まんじゅうを食べる風習があります。

8月1日は「釜蓋朔日(かまぶたついたち)」と呼ばれており、「地獄の釜の蓋が開く日」とされています。(この場合の「地獄」は「あの世」という意味で、地獄の釜の蓋を開けるように命じるのは、閻魔大王さまらしいです。)

あの世からの道のりは遠く、ご先祖さまは8月1日に出発しないとお盆に間に合わないため、釜の蓋から飛び出し、13日間かけて帰ってくるそうです。

そこで、古くからご先祖さまを迎えるための行事の一つとして、8月1日に釜の蓋が開いたことを喜び、それぞれの家庭で炭酸まんじゅうをつくります。

そして、笹の葉を敷いてまんじゅうをお供えし、自分たちもまんじゅうを食べるといった風習が「釜の蓋まんじゅう」です。(ご先祖さまが帰ってくる途中、お腹がすいてしまうので、まんじゅうを食べながら帰ってくるのだとか。)

もちろん迎え盆の際に、精霊馬も準備してお迎えに行くので、ご先祖さまはあの世から直帰してくるわけではないようです。お墓で迎えをスタンバイしているのかと想像すると、個人的にちょっと面白いなと思ってしまう。

まだまだ暑い日が続きますが、皆さま、夏バテにお気をつけて元気にお過ごしくださいー!

モチオシは、黒糖入りの炭酸まんじゅう!



出来立ては特に
めちゃうまい。
何個でもいける!



“いきいき栃木っ子”
デザイナー 菅波
S.SUGANAMI